

令和元年愛知県ふぐ処理師試験問題

（ 令和元年10月16日
試験時間 午後1時30分～2時30分 ）

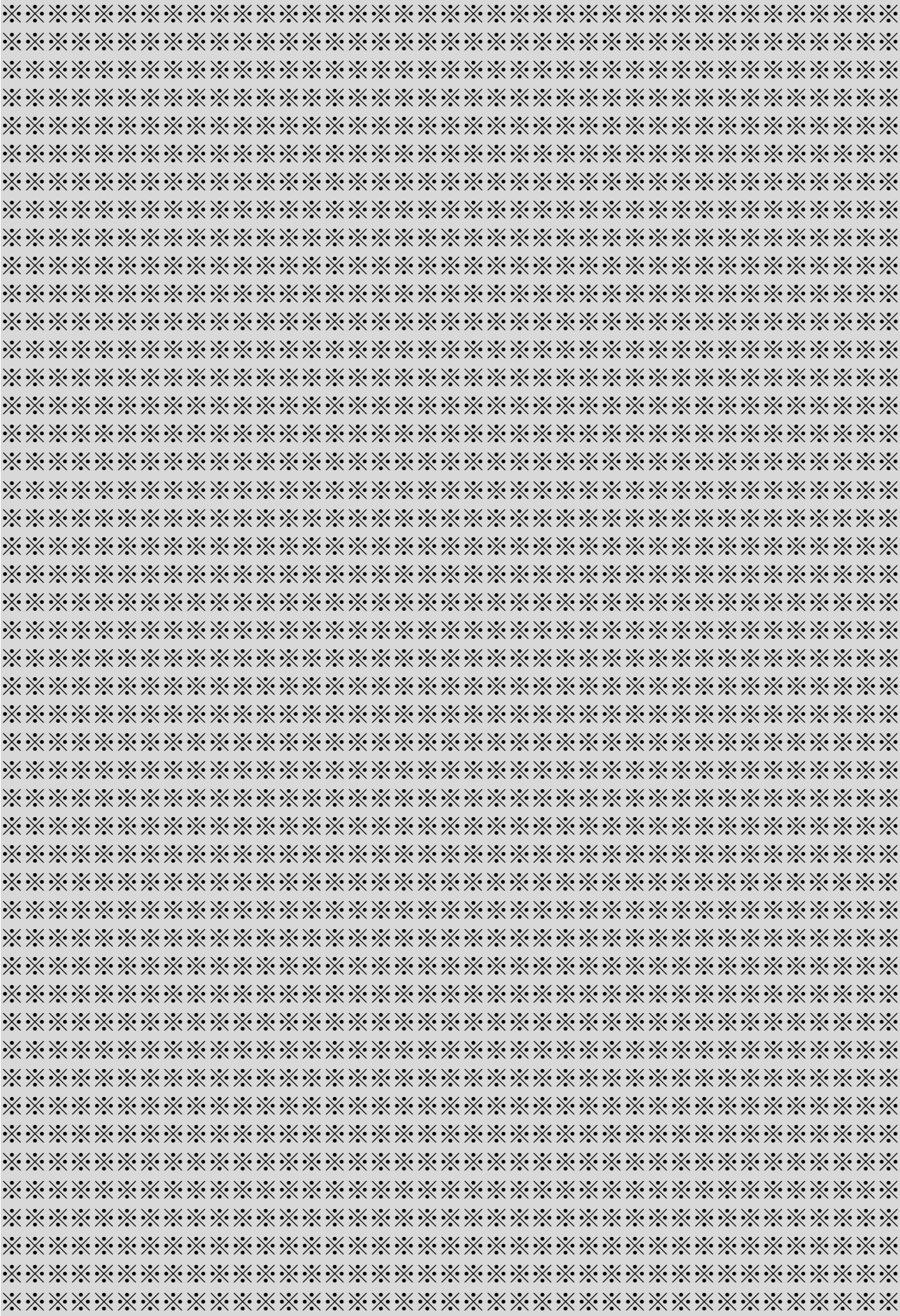
◎ 指示があるまで、開いてはいけません。

注 意

- 1 この試験は問題と解答用紙が別になっています。答は必ず解答用紙の答の欄に書き入れてください。問題に答を書いても正解になりません。
- 2 解答用紙に受験番号と氏名を書き入れてください。
- 3 **問題は1～10ページ**まであります。確かめてください。
- 4 各問題とも答を一つ選んで、その番号を解答用紙の答の欄に書き入れてください。
- 5 答は番号をはっきりと書き入れ、まちがえて書いたときはきれいに消してください。
- 6 問題は持ち帰ってください。
- 7 受験票は、この後行うふぐの種類鑑別試験及び明日の実技試験に必要ですので、なくさないでください。
- 8 学科試験終了後は種類鑑別試験を行いますので、午後2時45分までに、学科試験を行った教室へ必ずお戻りください。

★ 鑑別試験に関する注意事項

- (1) 種類鑑別試験の試験室へは順次誘導します。
- (2) 試験室に入る前に種類鑑別試験の解答用紙を渡しますので、受験番号と氏名を書き入れて待機してください。
- (3) テーブル上の1から5までの番号を付けた各バットに1匹ずつふぐが入っていますので、その番号を種類鑑別試験の解答用紙の該当する欄に書き入れてください。同じ欄に番号を2つ以上記入した場合は、無効とします。
- (4) ふぐにさわっても構いませんが、バットから絶対に持ち出さないでください。
- (5) 1テーブルに2人の受験者が一度に受験し、時間は2分間とします。
- (6) 係員の指示に従って受験してください。



食 品 衛 生 学

問 1 次の腸炎ビブリオに関する記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) これによる食中毒は、感染型食中毒に属する。
- (2) 塩分濃度 2.5～3.0%でよく増殖する。
- (3) 主に家畜の腸管内に分布する。

問 2 次の黄色ブドウ球菌に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 人の口腔、鼻、咽頭の粘膜、皮膚等に分布する。
- (2) 加熱に強く、100℃30 分の加熱では死滅しない。
- (3) これによる食中毒の潜伏時間は、2～4 日程度である。

問 3 次のシガテラによる食中毒に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) サンゴ礁周辺にせい息するバラフエダイ等の毒魚を食べて起こる。
- (2) 主な症状は、腹痛、下痢、嘔吐等の胃腸症状である。
- (3) 毒成分は、毒魚の筋肉や内臓に含まれるソラニンである。

問 4 次の貝毒に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 貝が毒化するのには、中腸腺で産生される毒が貝の体内に蓄積するためである。
- (2) 可食部 1 g 当たりの麻痺性貝毒の毒量が 0.05MU（マウスユニット）を超える貝類は、流通販売が認められない。
- (3) 麻痺性貝毒は水溶性で、下痢性貝毒は脂溶性である。

問 5 次のノロウイルス及びその食中毒に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) カキなどの二枚貝の内臓で増殖し、蓄積される。
- (2) 潜伏時間は、一般的に 24～48 時間である。
- (3) 予防対策として、食品を保存する際に 4℃以下で冷蔵保存することが有効である。

問 6 次の経口感染症に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 細菌性赤痢の特徴的な症状は、バラ疹やイチゴゼリー状の粘血便である。
- (2) コレラは、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により、三類感染症に分類される。
- (3) 細菌性赤痢やコレラは、飲食により感染した場合でも、「食品衛生法」に基づく食中毒としては取り扱われない。

問 7 次の記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 食品への紫外線照射は、ジャガイモの発芽防止の目的に限り利用されている。
- (2) 一般に、細菌は 63℃30 分の加熱で死滅するが、ボツリヌス菌などの芽胞菌の殺菌には、100℃10 分の加熱を必要とする。
- (3) 細菌は、冷蔵・冷凍で増殖が抑制されるが、冷凍しても死滅しない。

問 8 次のカンピロバクター及びその食中毒に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 流通食品では、鶏卵の汚染率が高い。
- (2) 潜伏時間は、2～7日（平均2～3日）である。
- (3) 主な症状は、激しい嘔吐、40℃近い発熱である。

問 9 次の消毒に関する記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) アルコールは、濃度100%よりも70%の水溶液の方が効果が高い。
- (2) 逆性せっけんは、普通のせっけんと混ぜて使用すると効果が高まる。
- (3) 10%の次亜塩素酸ナトリウム溶液を薄めて約100ppmとして使用するためには、この溶液1mlを1ℓの水に溶かせばよい。

問 10 次の感染症のうち、経口感染症でないものはどれか。

- (1) 日本脳炎
- (2) E型肝炎
- (3) パラチフス

食 品 衛 生 関 係 法 規

問 11 次のうち、「食品衛生法」に規定されていないのはどれか。

- (1) 食品衛生監視指導計画の策定
- (2) 飲食店等の利用者の受動喫煙の防止
- (3) 食品衛生管理者の設置

問 12 次の「食品衛生法」に関する記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) 食品、添加物、器具又は容器包装に関しては、公衆衛生に危害を及ぼすおそれがある虚偽の又は誇大な表示又は広告をしてはならない。
- (2) 食中毒患者等を診断し、又はその死体を検案した医師は、直ちに都道府県知事にその旨を届け出なければならない。
- (3) 営業上使用する器具及び容器包装は、清潔で衛生的でなければならない。

問 13 次は、「食品衛生法」第3条第2項の条文であるが、()に入る語句の組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

「食品等事業者は、販売食品等に起因する(ア)上の危害の発生の防止に必要な限度において、当該食品等事業者に対して販売食品等又はその原材料の販売を行つた者の名称その他必要な情報に関する(イ)を作成し、これを保存するよう努めなければならない。」

- | | (ア) | (イ) |
|-----|------|-----|
| (1) | 食品衛生 | 資 料 |
| (2) | 公衆衛生 | 記 録 |
| (3) | 食品衛生 | 記 録 |

問 14 次のうち、飲食店営業の許可施設において、ふぐによる食中毒で死者が発生した場合、「食品衛生法」に基づき、都道府県知事が行うことができないのはどれか。

- (1) 営業者に対し、遺族への損害賠償を命じること。
- (2) 期間を定めて営業を停止すること。
- (3) 営業の許可を取り消すこと。

問 15 次の「愛知県食品衛生条例」による公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) 製造し、加工し、又は処理した製品について、成分規格の定められたものは定期的に、その他のものは必要に応じて衛生検査を行い、その記録を少なくとも2年間保存すること。
- (2) 営業施設内の採光又は照明及び換気を十分に行うとともに、必要に応じて適切な温度及び湿度の管理を行うこと。
- (3) 営業者は、食品取扱者に対し年1回以上の検便を受けさせるとともに、食品取扱者の食品衛生上必要な健康状態の把握に努めること。

問 16 次は、「愛知県ふぐ取扱い規制条例」第1条の条文であるが、() にあてはまる語句の組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

「この条例は、ふぐの(ア)等について必要な規制をすることにより、(イ)を目的とする。」

(ア)

(イ)

- | | |
|-----------|--------------------|
| (1) 調理、販売 | ふぐの取扱いを普及し、振興すること |
| (2) 処理、販売 | ふぐによる食中毒の発生を防止すること |
| (3) 処理、販売 | ふぐに係る食品衛生を向上すること |

問 17 次のうち、「愛知県ふぐ取扱い規制条例」により、処理していないふぐについて、食用としての販売先（「食品衛生法」第 52 条第 1 項の規定により営業の許可を受けた者）として認められていないのはどれか。

- (1) 魚肉ねり製品製造業者
- (2) 魚介類せり売営業者
- (3) 魚介類販売業者

問 18 次の「愛知県ふぐ取扱い規制条例」に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 他の都道府県においてふぐの処理に関する免許を受けている者は、申請により、等しく愛知県知事のふぐ処理師の免許が与えられる。
- (2) ふぐ処理師でない者は、業としてふぐの処理を一切してはならない。
- (3) ふぐ処理師は、ふぐの処理に当たっては、衛生上必要な措置を講ずるとともに、除去した卵巣等を人に害を与えるおそれのないよう焼却する等、適正に処分しなければならない。

問 19 次の「愛知県ふぐ取扱い規制条例施行規則」に関する記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) ふぐ処理師は、免許証の記載事項に変更が生じたときは、知事に免許証の書換え交付を申請することができる。
- (2) ふぐ処理師は、免許証を破り、汚し、又は失ったときは、知事に免許証の再交付を申請することができる。
- (3) ふぐ処理師が失そうの宣告を受けたときは、「戸籍法」に規定する失そうの届出義務者は、10 日以内に、知事に届け出なければならない。

問 20 次の「愛知県ふぐ取扱い規制条例」及び「愛知県ふぐ取扱い規制条例施行規則」に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) ふぐ処理施設の届出は、ふぐの処理に係る業務の開始後、直ちにしなければならない。
- (2) ふぐ処理施設の届出をした者は、標札を当該施設の見やすい箇所に掲げなければならない。
- (3) ふぐの処理に係る業務を休止したときは、業務を休止した日から 30 日以内に届出なければならない。

ふぐに関する知識

問 21 次のうち、トラフグ属であるフグの組み合わせはどれか。

- A カラス B シロサバフグ C ヨリトフグ
D ショウサイフグ E ゴマフグ

- (1) A、C、D
(2) A、D、E
(3) B、C、E

問 22 次のフグ（フグ科）の一般的な特徴に関する記述のうち、正しいのはどれか。

- (1) 目のまわりに多数の皮褶^{ひしゅう}があり、目は開いたままで閉じることができない。
(2) うきぶくろの一部に大量の水や空気を取り込み、腹を膨らませる。
(3) 背ひれと臀ひれは、ほぼ同形同大で、体の後部に上下対になっている。また、腹ひれはない。

問 23 次の記述に該当するフグはどれか。

全長：40 cm程度の中型種

分布：函館以南、黄海、東シナ海、日本海には比較的多い。

毒性：筋肉と精巣は無毒、皮は有毒である。

特徴：背面と体側に藍青色の小点が密布している。

背面及び腹面に小棘（トゲ）がある。

臀ひれはレモン色である。

- (1) ゴマフグ
(2) コモンフグ
(3) マフグ

問 24 次のサバフグ類の鑑別点に関する記述のうち、ドクサバフグに関するものはどれか。

- (1) 背面の小棘（トゲ）は、背ひれに達しない。また、尾ひれの中央はいくらか凹んでいる。
- (2) 背面に小棘（トゲ）はない。また、尾ひれの先端は白い。
- (3) 背面の小棘（トゲ）は、背ひれのつけ根まで達する。また、尾ひれの中央は深く切れ込んだものが多い。

問 25 次のうち、我が国に輸入が認められているものはどれか。

- (1) 東シナ海で漁獲され、単に内臓のみが全て除去されたヒガンフグ
- (2) 日本海で漁獲され、皮と内臓の全てが除去されたショウサイフグ
- (3) 黄海で漁獲された未処理のナシフグ

問 26 次のうち、精巢が有毒なフグはいくつあるか。

クサフグ、コモンフグ、ヒガンフグ、ショウサイフグ、サンサイフグ

- (1) 3つ
- (2) 4つ
- (3) 5つ

問 27 次のフグ毒（テトロドトキシン）に関する記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) ペプシンやトリプシンなどの消化酵素で分解されない。
- (2) 紫外線や太陽光線で分解される。
- (3) 純粋なものは、無色、無味、無臭の結晶である。

問 28 次のフグの寄生虫と主な寄生部位の組み合わせのうち、**正しい**のはどれか。

- (1) ウミチョウ —— 鰓腔内面
- (2) ヘテロボツリウム —— 体表皮膚
- (3) アニサキス —— 腹腔内又は臓器

問 29 次のフグ毒の特性に関する記述のうち、**正しい**のはどれか。

- (1) 一般に、各種類の各臓器において、毒力は雄より雌の方が強い。
- (2) 肝臓には、季節による毒力の変動が全くみられない。
- (3) 同じ種類のフグであれば、生息する海域によって毒力に違いはない。

問 30 次のフグ中毒に関する記述のうち、**誤り**はどれか。

- (1) 一般に、発症までの時間（潜伏時間）が短いほど、致命率が高い。
- (2) 特異な症状として、温度感覚の失調（ドライアイスセンセーション）がある。
- (3) 応急処置として、利尿剤の投与や胃洗浄がある。